SL人吉の一日

58654 形式8620

宇土市立
宇土東小学校
制作
八木 郁弥

発行日
平成26年
9月24日

熊本駅から出発する観光列車は4つあります。その中でも「SL人吉」の一日に密着しました。

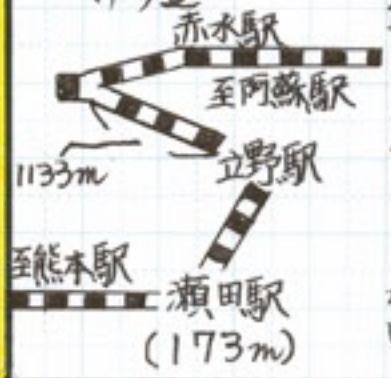
SL人吉 58654

大正11年に日立製作所で作られた。昭和40～41年にかけ、臨時急行ひとよしとしても運行。昭和63年7月に小倉工場で復元され、「SLあそBOY」としてその年の8月から運行するが、17年後の平成17年8月に運行を終りようする。そして平成21年4月からSL人吉号として、熊本～人吉駅間を一日一往復している。

あそBOYとして走ったころ

世界一の阿蘇の外輪山スイッチバックでよじ登る

勾配は1kmに33m高くなる九州一の鉄道の勾配。しかし一度では登れない。立野駅と赤水駅の8kmの間に190mも標高差がある上り。これは、60階のビルの高さと同じ。立野駅からスイッチバックのはしまで後退し、そこからはずみをつけて前へ進む。



機関士石田さん機関助士西崎さんの一日

4時30分起床　勤務の準備。
6時20分出勤　その日乗務する行程を機関士と助士で確認。
6時35分車両センターへ。
①カマの中の古い石炭を落とす。
②SL全体を点検。ライト・ブレキ・標示等を2人で確認。
③石炭を積みこむ。水のほきゅう。
④SLをみがく。
⑤入換えを行い客車と併結して熊本駅に行く準備をする。
8時49分熊本駅へ出発。
9時44分人吉駅へ出発。
12時12分人吉とう着　水をほきゅうする。
休けい　昼ご飯
14時38分人吉発車
17時13分熊本駅とう着
①SLに異常がなかったか点検する。
②石炭を落とす。
③水をほきゅうする。
④次の日運行時はカマの中に石炭を山のように積んで、火を次の日までキープする。（夜の間は2時間おきに整備士さんが石炭を入れる）
次の日運行しない時は火をけす。火をつけるのには3時間かかる。

一日積んでいく石炭と水の量
石炭↓6t
水↓15t

機関士・助士が気をつけること

機関士↓時刻表通りに運転できるように注意しているそうです。
助士↓時刻表通りに運転できるように動力源をつくるそうです。

SL人吉の停車駅の様子

帰		行
17：13	熊本	9：44
16：31	新八代	10：26
16：25	八代	10：38
16：08	坂本	10：54
	第一橋梁	
15：28	白石	11：26
15：08	一勝地	11：51
	第二橋梁	
14：49	渡	12：02
14：38	人吉	12：13

この駅は、肥さつ線の起点駅です。（0起点）

この駅は、明治41年の開業当初からの古い駅舎が今もそのままの形でのこっている駅です。

球磨川第二橋梁といってアメリカン・ブリッジ製の明治41年につくられた橋です。第一橋梁とあわせて全国に二つしかのこっていません。

人吉駅には石造りの機関庫や機関車の方向転換するための転車台がある。

編集後記

今号は、SL人吉の一日に密着してみました。SLの機関士、助士さんはただ運転するだけではなく、SLを動かすために朝早くから夜おそくまで石炭を積んだり、水をほきゅうしたりしてとても大変なんだということが分かりました。夏は50度以上にもなる機関室での、投炭などで汗だくになっているのはとてもきつそうでした。

今回、取材に協力して下さった機関士の石田さん、機関助士の西崎さんありがとうございました。

♡SLの詞を考えてみました
ポーッポッポッポッ運転したいなぁ
ポーッポッポッ汽笛をならしたいなぁ
春の桜のあたたかなピンク色
夏の田んぼのさわやかな緑色
秋の山のもえるようなオレンジ色
ポーッポッポッ運転したいなぁ
ポーッポッポッ汽笛をならしたいなぁ
SLの機関士になるぞ!!